



セミナー会場

6727

ワコム



代表取締役社長兼CEO  
井出 信孝氏

## ～「テクノロジー・カンパニー」として新しい一歩を踏み出す～

### ワコムとは

- **デジタルペンとインクのグローバルリーダー**
  - ・1983年、設立とともにパソコン入力機器であるペンタブレットを開発
  - ・1987年、世界初のコードレスペンタブレットを発売
- **プロのクリエイターを支える**
  - ・当社のデジタルペンは、主に以下の分野で、国内外のプロのクリエイターが活用
    1. コンピュータグラフィックス(CG)を使った映画制作
    2. アニメーションやゲームソフト制作
    3. 自動車デザインなどの工業デザイン
- **デジタルインク、無限の可能性**
  - ・当社独自のデジタルインクWILL™を使用すると、「誰が、どこで、いつ、どんな気持ちでこれを書いた、描いたのか」がわかります。つまり、デジタルインクは人間の「文脈と軌跡」を捉えることが可能

### 中期経営計画(2/2)

- **大胆な選択と集中**
  - ・既存市場(ペンタブレット/デジタルペンOEM供給)のリーダーシップを保持しつつ、デジタルペンとインクの新規市場を開拓
  - ・新規市場は、具体的には教育分野、デジタル文具市場。AIとの連携による文脈と軌跡の把握・追跡
- **2022年3月期経営指標の目標**
  - ・営業利益率10%、売上高1,000億円、ROE15~20%
  - ・目標実現へ向けて、顧客志向の技術革新と組織改編を実施。利益を重視した財務体質を確立
  - ・経営の質の向上に向け、2019年3月期より社外取締役比率を50%へ引き上げ、公平性/透明性を確保、取締役会の規模も最適化
- **販管費の最適化**
  - ・売上高販管費率を過去10年間で最低レベルまで抑制する一方、研究開発へは積極投資

### 中期経営計画(1/2)

- **「テクノロジー・カンパニー」へ、ワコム第2章がスタート**
  - ・ワコム第2章と称して、以下3つにフォーカスした中期経営計画(最終年度2022年3月期)を推進
- **テクノロジー・リーダーシップの推進**
  - ・お客様との対話を通じた「技術革新」で、手書き/手描きのチカラを伝える
- **アイランド&オーシャンによる緊密な連携**
  - ・アイランド(島)はブランド事業、オーシャン(海)はテクノロジー事業から成り、2つを緊密に連携させ成長
  - ・市場成長機会は、3D(三次元)、VR(仮想現実)、MR(複合現実)等のデジタルコンテンツを創作するクリエイティブ分野。デジタルインクを使った電子サイン、ペーパーレスソリューション分野他
  - ・大手スマホ、パソコンメーカーにも、当社デジタルペンが採用(OEM供給)されており、デジタルペンとインクのデファクト・スタンダードを目指す

### 第一四半期決算・株主還元

- **第1四半期(2018年4-6月期)決算**
  - ・売上高は179億円(前年同期比で12%増)、営業損失は4億円(前年同期は1億円の損失)、当期純損失は1億円(前年同期は2億円の純利益)を計上
  - ・第1四半期は、ブランド製品事業が大幅減益の一方で、テクノロジーソリューション事業が大幅増益。事業の季節性により利益額水準が低い中、販管費の最適化を図り、売上高販管費率は前年同期比で6.4ポイント低下
  - ・2019年3月通期決算予想は期初予想から変更なし  
売上高は850億円(前期比3%増)、営業利益は40億円(同13%増)、当期利益は30億円(同26%増)を予定
- **資本政策と株主還元の考え方**
  - ・資本構成に関して当面は財務の健全性確保に重点
  - ・配当については補助的な指標としては配当性向30%を目安、安定的な成長(増配)方針

本資料は、フォーラム開催日の2018年8月18日現在の情報に基づいて作成されており、その後の業績動向等を反映したものではありません。明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。